

【討論】

反対 佐藤仁志議員

可決 議案第 54 号

組織の看板をかけ替えることではなく、業務の正常化と現場のひずみを解消することが必要。緊急時に組織としての強靭さを保つことができない。組織の効率化を損ない、職員の負担を増大させ、市民サービスの低下を招く。

反対 板倉克典、加藤明由議員

可決 議案第 55 号

賛成 横井克典議員

多機能端末機は任意取得であるマイナンバーカードを所持する市民しか利用できず、所持しない市民との間に手数料の差ができる。デジタル化の時代に、記録媒体での写し交付の検討も行わない中での手数料値上げには反対。

討論

物価上昇や社会情勢の変化を踏まえ、行政サービスの適正負担を確保し、市民利便性の向上と行政運営の効率化を図る妥当な改正である。また、業務効率化や待ち時間短縮、行財政改革やデジタル行政推進にも資する施策である。

反対 佐藤仁志、板倉克典議員

可決 議案第 56 号

賛成 横井克典議員

教育行政の自主性確保、時の権力者からの中立が必要であり、教育委員会の所管のままで連携は可能。専門職の配置がおろそかになり、本来の資料保存や教育的機能が損なわれる懸念がある。

討論

まちなか交流館リニューアルを契機にまちなか交流館を新設し、図書館・歴史民俗資料館管理や文化財保護を一体的に所管することで、施策の迅速化や柔軟な施設運営を可能とし、地域活性化や文化資源活用に寄与できる。

反対 加藤明由議員

可決 議案第 57 号

選挙ポスター作成費の公費負担単価を4千円超に引き上げるが、津島市では2,306円で運用できている。上限額に近い請求を行う業者により、無駄な公費支出が増大する。

反対 板倉克典議員

可決 議案第 58 号

賛成 横井克典議員

使用料の改定は市場の原理と同じ関係に置き換えようとするもので、市民の所得格差を考慮すべき。売り上げ重視で、社会情勢を即反映させる公共施設使用料の改定は反対。

討論

「公共施設使用料適正化方針」に基づき、市民負担の公平性の確保と行財政運営の本来の目的に立ち返るもの。総合社会教育センターはじめ13施設の見直しや市外・営利利用の区分、人件費・維持管理費を踏まえた使用料設定が行われている。

反対 佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第 59 号

賛成 横井克典議員

拙速で、まちづくりの哲学が欠如している。既存施設との全体計画がなく、無駄な重複。真の交流の視点もない。市民不在の計画は一度白紙に戻し、市民の視点でゼロから議論し直すべき。

討論

本施設は、市民の交流・情報発信拠点として設置され、交流多目的スペース、図書館、歴史民俗資料館を一体的に活用し、地域文化や観光振興等に寄与する。また、使用料の設定により受益者負担を確保し、持続可能な運営も図れる。

反対 那須英二議員

可決 議案第 60 号

規制緩和により、施設環境や職員体制が不十分な事業所が増えるリスクがある。乳幼児の安全確保が最優先であり、危険を伴う安易な緩和をすべきでない。

反対 那須英二議員

可決 議案第 61 号

「こども誰でも通園制度」に関する設備・職員基準の適用除外は本市に整合しない。事故リスクを高め、子どもの安全を後退させる恐れがある。

反対 佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第 72 号

賛成 横井克典議員

サウンディング調査の業者委託は談合や利益誘導の温床となる恐れがあり、高校跡地活用も密室での決定で不誠実、かつ特定団体の独占が懸念される。公正さと透明性を欠く。

討論

旧海翔高校のグラウンドを団体等が利用できる体育施設として整備するため、仮設トイレ設置や給水管工事、防球ネット設置など、安全利用に必要な経費として328万8千円が増額計上されている。

反対 加藤明由議員

可決 議案第 76 号
議案第 77 号

議員の期末手当は1回で100万円を超える。物価高騰や災害で市民が困窮している中、議員や特別職がさらなる追加手当を受け取る必要性には疑問がある。

反対 佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第 80 号

国家賠償金の計上は、市の違法行為の決定的な証拠である。控訴で事態を悪化させた市長らの責任は重大であり、汚点への自覚もなく進退等のけじめを求める。市民感覚として到底容認できない。